

地域で育んだ民謡を唄い伝える 第22回民謡「長者の山」全国大会

10月6日と7日の両日、美郷町公民館で第22回民謡「長者の山」全国大会が行われました。今年は県内外から、熟年の部に71名、一般の部に100名、ジュニアの部に22名が参加し、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露しました。各部門の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 【一般の部】
優勝 福本 えみ (東京都江戸川区)
準優勝 浅野 沙樹 (秋田市)
第3位 浅野 晴香 (秋田市)
- 【熟年の部】
優勝 佐藤 修三 (八郎潟町)
準優勝 柏田 和江 (岩手県矢巾町)
第3位 川辺 節子 (秋田市)
- 【ジュニアの部】
最優秀賞 目黒 優月 (男鹿市)
優秀賞 菅原 桃香 (男鹿市)
優秀賞 高橋愛実香 (男鹿市)



▲一般の部優勝の福本えみさん (写真中央)

美郷の秋を体験 農業体験ツアー

美郷町の農業や農産物について知ってもらおうと10月6日から7日にかけて農業体験ツアーが開催されました。都内から参加した8名は町内の農家民宿を訪れ、アスパラガスの収穫や稲刈りなどを体験しました。親子でツアーに参加した方からは「非農家ながらも子どもが就農を希望しているので、農業に触れるきっかけになってよかった」という声がありました。農作業を終えた後は、自分たちで収穫した野菜や町内産農産物を使った夕食を堪能しながら、地元の農家の方との交流を楽しみました。



スポーツで生活に活力を 第43回秋田県体育施設研究協議会

地域のスポーツ振興を図ることを目的として、10月12日にトレーニングセンターみさとで、秋田県体育施設研究協議会が開催されました。協議会では、「プロスポーツチームのあり方」と題して、秋田ノーザンハピネッツのゼネラルマネージャーである大場清悦氏による講演が行われました。大場氏は、試合会場での観客からの声援が選手の力になることを挙げ、地域全体でスポーツに参加することの重要性を呼びかけました。また、秋田県内の体育施設関係者や指導者による意見交換会も設けられ、体育施設の管理・運営方法について討議しました。



山々から見下ろす秋の色 真木真昼県立自然公園 紅葉観賞登山

10月14日に真昼岳で紅葉観賞登山(真木真昼県立自然公園を美しくする会主催)が行われ、町内外から40名が参加しました。今回の登山では山の自然を大切にすすめとして、参加者たちがゴミを拾い集めながら山頂を目指しました。また、当日は天候にも恵まれ、山間から見下ろす仙北平野の壮大な景色を眺めたり、山頂に近づくにつれて深まる紅葉を観賞するなど、参加者たちは秋の真昼岳を満喫していました。



交通事故から身を守るために 高齢者交通安全大会

10月18日に中央体育館で高齢者交通安全大会が行われました。美郷地区交通安全協会の戸沢信一会長は、県内の交通事故の半数以上が高齢者が関わっていることに触れ、「高齢者の交通安全意識を高めることで、地域全体で交通事故を減らしていきましょう」と述べました。大仙警察署の安全・安心アドバイザーによる講話では、反射材に関する説明や飲酒状態体験メガネを使った実習が行われ、参加者たちは日頃の備えの大切さや飲酒運転の危険性について、身を持って感じている様子でした。



美郷中学校が男女アベック優勝 美郷町中学校新人駅伝競走大会

10月17日、美郷町中学校新人駅伝競走大会が美郷中学校周辺特設周回コースを会場に開催され、男女各17校が参加しました。男子は6区間17.4km、女子は5区間10.5kmのコースを走り抜き、開校1年目で美郷中学校が男女そろっての優勝を成し遂げました。なお、成績上位チームと町内の区間受賞選手は次のとおりです。（敬称略）



【男子】	優勝	美郷中学校A	58分15秒
	準優勝	生保内中学校	59分57秒
	第3位	協和中学校	1時間00分31秒
	オープン参加	美郷中学校B	1時間01分05秒
【女子】	優勝	美郷中学校A	36分42秒
	準優勝	中仙中学校	37分27秒
	第3位	仙北中学校	38分35秒
	オープン参加	美郷中学校B	38分18秒
	オープン参加	美郷中学校C	40分46秒



【男子】	1区	竹原 祐太 (美郷中学校2年)
	4区	門脇 椋 (美郷中学校2年)
	6区	渡邊 拓斗 (美郷中学校1年)
【女子】	2区	熊谷 朱莉 (美郷中学校2年)
	4区	田口 涼香 (美郷中学校2年)
	5区	佐々木亜衣 (美郷中学校1年)

8回目の誕生日

美郷町長 松田知己

風



第22回民謡「長者の山」全国大会であいさつを述べる松田町長

夏の余韻を背負いながら稲刈りを無事に終え、これから「豊穰の秋本番」と思っていたらストンと気温が落ち、冬の足音さえ感じる頃となりました。もう少し、紅葉をはじめとする秋の余韻、楽しみたいと願うところです。

しかしその紅葉、今年は例年より遅く、発色もいま一つのこと。みなさんの目にはどう映っているでしょうか。「今年の異常気象じゃ、そうかもね」と思うところですが、やはり植物

には気象経過は大切で、その経過が必ず何らかの形で表に出て来るのだらうと思います。そんなことを考えていた先般、「人も同じだよな」ということを、改めて実感するテレビ番組を見ました。

みなさんの中にもファンがいらっしゃると思いますが、俳優の高倉健さん、洪くて格好いんです。先般、NHKで特集番組が放送されましたが、ストイックに仕事に取り組み、妥協をせずに生きてきた過去は、高倉健さんが醸し出す存在感につながっています。また、何より顔にすべてが表れているように思います。みなさんはそう思いませんか。やはり「過ごした時間の質」は、必ず何らかの形で表に出て来るのだらうと私は思っ

いるところです。

ところでこうした過去と現在の関連性、言うまでもなくすべてに共通です。植物であれ人であれ、そしてその人が関わる町づくり活動さえも、同質の共通性があります。だからこそ私たちは、将来を見据えて精一杯今を生きなければなりませんし、与えられている時間を意義深くしなければなりません。

今月1日は美郷町満8歳の誕生日です。改めて、目指したい町の姿を明瞭にしながら、費やした時間と現在の姿を確認しましょう。そうすることで、これから歩むべき道がさらにはつきりしてくるようになります。誕生日という節目、人や事柄に関わらず共通する大きな意義は、過去と現在の関連性を整理し、未来に向かう意欲を喚起することだらうと私は思います。

ユーモアセンスも高い高倉健さん。すべてをひっくるめて「品格」と言うならば、高倉健さんのように「品格ある美郷町」を目指したいものです。